

【競技上の注意】

1 ルールについて

本大会は、2026年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則に基づいて行う。

2 競技方法

男子・女子ともに、トーナメント方式とする。

3 競技時間

男女ともに25分（前半）－10分（休憩）－25分（後半）とする。

延長戦は第1延長までとし、それでも決しない場合は7mスローコンテスト（5人）を実施する。

4 競技会場

1 1 日	氷見市ふれあいスポーツセンター	メインアリーナ	40m×20m（2コート）
1 2 日	氷見市ふれあいスポーツセンター	メインアリーナ	40m×20m（2コート）

5 時 計

加算式電光表示時計を使用する。

競技終了の合図、タイムアウトの合図はホーンで行う。

6 ユニフォームについて

濃淡2色以上のユニフォームを用意すること。プログラムに記載していない3着目がある場合には、監督会議の際、申し出れば3着目の使用を認める。

ユニフォームの確認は、第1試合目は、試合開始30分前に行う。（11日の第1試合だけは8：45に行う。）第2試合目以降は、前試合の前半終了直後に両レフェリー立ち会いのもと、オフィシャル席前にて行う。ユニフォーム確認は、その試合に着用するすべてのユニフォームを持参する。対戦間で着用したいユニフォームの色が同じ場合、審判員がトーナメント表の左側チームを優先し、決定する。

7 服装や保護を目的とした装具について

＜爪、髪、ハチマキ、ピン＞

- ・危険がないように、爪は短く切り、長い髪は結ぶこと。
- ・ハチマキは、結び目より先を短くすること。
- ・金属・プラスチック製のピンは使用できない。

※以下、服装や保護を目的とした装具に関する規定に準ずる。

＜服装＞

ユニフォームの外に見える場合は、以下の規定が適用される。

- ・アンダーシャツは、ユニフォームの大部分を占めている色と同色であれば使用できる。
- ・サイクリングパンツなどユニホーム（短パン）の下に履くものは、ユニホーム（短パン）の大部分を占めている色と同色であれば使用できる。ただし、黒色は例外として、ユニホーム（短パン）の色とは関係なく使用できる。
- ・アンダーシャツの色は、チームで統一された色でなければならない。
- ・靴下の色はチームで統一された色でなければならない。
- ・膝下の装具は、靴下と同色であること。
- ・肘や膝の装具（1カ所のみを保護する装具）の色は問わない。

＜めがね・ゴーグル＞

フレームが硬い材質（バンド付き）でも、「スポーツゴーグル」として市販等されているものであれば、その使用を認める。

＜アームスリーブ＞

ユニフォームに使用されている色であれば、使用を可能とする。使用の際は、チームで統一した色とすること。両腕に使用する場合、左右同色でなければならない。

＜肘＞

（むき出しになっているかどうかに関わらず）硬い部分を伴う装具は、使用できない。

＜膝＞

硬い部分がむき出しになっている装具は、使用できない。

＜ふくらはぎ＞

靴下の色と一致しないふくらはぎへの装具は、使用できない。

8 ベンチについて

ベンチは、チーム監督1名、コーチ3名（生徒役員可）、選手15名の計19名までとする。いずれも、チームの所属する中学校長（代表者）が参加を認めた者であること。

チーム役員は、大会主催者が準備したA、B、C、Dカードを着用し、試合終了後返却する。チーム責任者はAカードを着用する。

9 チーム役員の服装について

チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーのユニフォームと同系色のウェアの着用は認められない。（上は襟付きのウェアを着用、下は短パン、ハーフパンツは不可）

※ただし、生徒役員はこの限りではない。

10 試合球について

（公財）日本ハンドボール協会検定球（モルテン<d60>、ミカ<HB40Bシリーズ>）とする。

【1日目】男子（モルテン）、女子（ミカ）、【2日目】男子（ミカ）、女子（モルテン）

11 粘着テープの使用について

競技会場は粘着テープのみの使用ができる。松ヤニ及び松ヤニスプレーの使用は、禁止とする。

12 退場者について

退場者については、電光表示時計の退場者タイマーで退場時間を表示する。

入場は、チームの責任によって行う。

13 ウォーミングアップについて

後続試合の4チームは、サブアリーナでアップを行うことができる。サブアリーナを4分割し、それぞれのスペースに分かれて使用すること。ただし、ゴールは使用不可とする。

第1試合の4チームは、コートで練習することができる。

屋外使用の場合は、2足制の厳守、室内用と屋外用ボールを区別して使用すること。

14 公式記録用紙の確認について

チーム責任者は、試合開始前にチーム役員名および選手の氏名と番号が正しく記載されているか確認し、サインする。

15 メンバーの確認について

各試合前に審判員が大会プログラムで確認する。なお、チームに所属する中学校長が参加を認めていない、地域クラブチームにおいては富山県中体連の認定を受けていない役員・選手はベンチに入ることができない。

変更がある場合は、監督会議で「選手・役員変更届け」を提出し、申告する。以降の変更は認めない。

16 テクニカルオフィシャル（MO/TD）について

全試合に、MOとTDを配置する。その他、生徒2名を中央に配置し、コートから向かって左側にMO、右側にTDを配置する。

17 交代地域に持ち込み可能な技術的機器について

（交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドラインより2020年7月13日）参照

交代地域において、選手の安全・戦術的指示のため、持ち運びができるもの（ガイドライン参照）の使用を認める。ただし承認されない機器を使ったり、機器を使った結果として不適切な言動があったりした場合は、交代地域から外して交信できない状態にする。

18 控席（室）と更衣について

【控え席（室）について】

メインアリーナ2階観客席とし、ゴール裏は、応援席として空けておく。

【更衣について】

メインアリーナ1階東側にある男女更衣室を使用する。

19 その他

応援時、ペットボトルやホーンで施設（イス、壁など）をたたかない。

保護者の応援については、マナー・モラルを守った応援となるよう、顧問から十分に保護者に伝えておく。